

発災時からの対応経過

陸前高田市のケース

資料3-3-2

被害：津波により庁舎壊滅 震度6弱

経過日数	3/11	3/12	3/14	3/15	3/18	3/20	3/29	4/15	4/27	5/29
経過日数	発災当日	1日	3日	4日	7日	9日	18日	1ヶ月	1.5ヶ月	2.5ヶ月
住民の 安否 確認	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部設置 津波発生後学校給食センターに移設 						<ul style="list-style-type: none"> 仮設庁舎設置 			
			<ul style="list-style-type: none"> 避難所設置 名簿記入依頼 壁に掲載(手作業、紙の表) 	<ul style="list-style-type: none"> 突合作業 2月末の住基台帳(業者>紙、CD) 	<ul style="list-style-type: none"> 終了 	<ul style="list-style-type: none"> D/B構築(フリーソフト) 簡易な安否照会システムの運用 				
各種 証明 事務										
外部 との 連絡 手段										
住民 への 情報 提供										
備考										

7月
 ・90台PC支援 (必要台数300台)
 ・LGWANを接続 (職員間メールはGメール対応)

8月
 ・住基NWと接続

住民データの速やかな入手が課題。

復旧不可能なデータの確保が課題

停電時のB/Uが課題